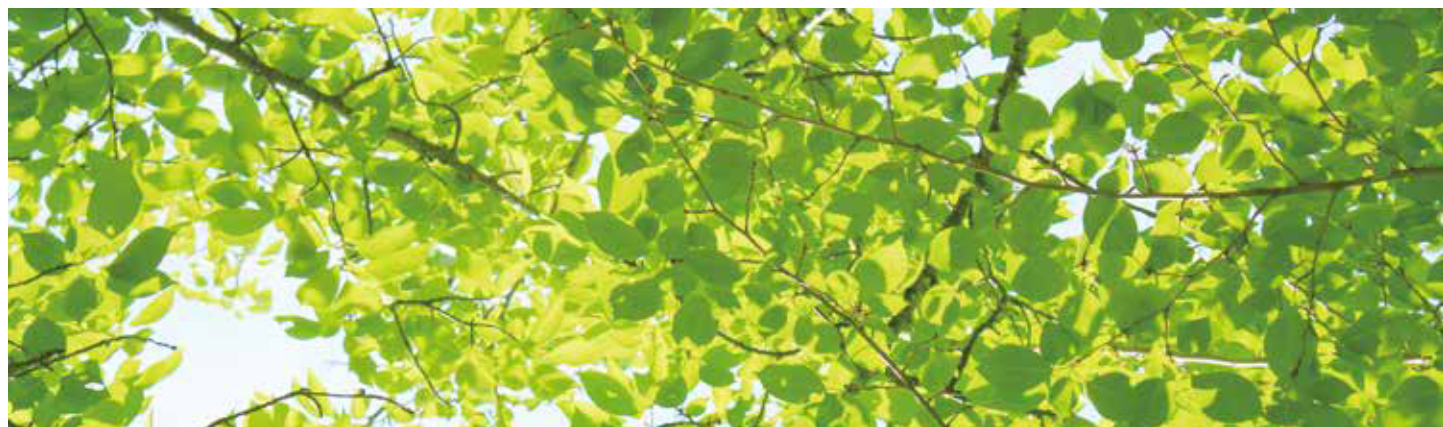




2024年度 CSRレポート

吉田グループ



発行日: 2025年9月1日
発行部署: 吉田プラ工業株式会社 NY-IS推進室

1. 労働・人権・持続可能な資材調達・倫理



YOSHIDA

		2022年度	2023年度	2024年度
●1-1.人権・労働・多様性				
人権問題 発生件数（児童労働、強制労働）	[件]	0	0	0
差別・ハラスメントに関する問題発生件数	[件]	0	0	0
女性従業員の割合	[%]	64.6	67.4	67.4
管理者女性割合	[%]	12.6	22.0	22.2
●1-2.労働条件・社会対話				
社会保険加入従業員数の割合	[%]	100	100	100
就業規則・労働協約および個別契約等による労働条件が適用されている従業員の割合	[%]	100	100	100
団体交渉を行う 組合・代表者委員会の対象となる従業員の割合	[%]	82	83	73
●1-3.キャリアマネジメント・教育				
定期的な業績とキャリア開発に関する考課を受けた従業員の割合	[%]	82	83	73
従業員一人当たりの平均研修時間	[h]	11.93	8.26	5.21
●1-4.安全衛生				
労働災害事故発生件数	[件]	14	10	7
労働安全衛生に関する研修実施率	[%]	100	100	100
労働災害度数率	[-]	3.11	3.32	0.97
労働災害強度率	[-]	0.01	0.01	0.00
●1-5.倫理				
倫理問題に関する研修を受けた従業員数	[人]	1,054	1,577	974
内部通報制度による報告数	[件]	0	0	0
確認された腐敗行為の件数	[件]	0	0	0
●1-6.持続可能な資材調達				
サプライヤー行動規範 同意書取得状況	[%]	100	100	100
●1-7.情報セキュリティ				
情報セキュリティインシデント発生件数	[件]	0	0	0

『Sedex (Supplier Ethical Data Exchange)』会員



Member

吉田グループは、Sedexにサプライヤー会員として登録し、持続可能なサプライチェーンの構築に積極的に取り組んでいます。Sedexの会員として、労働・人権、環境への影響、倫理的なビジネス慣行に焦点を当て、透明性と持続可能なビジネスパートナーシップの確立に貢献しています。

『Ecovadis』ブロンズメダル認証取得

当グループは、サステナビリティ活動を評価する機関Ecovadisによる評価を受けています。エネルギー使用量の削減、廃棄物の管理・削減などの環境負荷軽減活動や、労働と人権、倫理などのサステナビリティ活動に取り組み、2025年4月、昨年に引き続きブロンズメダルを獲得しました。

引き続き更なる向上を目指し活動を続けてまいります。

2. 環境活動

CDP2024 『気候変動』及び『水セキュリティ』 Bスコア取得



当グループは、国際的に企業等の環境への取組みを評価し、開示を行う

NGO（非政府組織）であるCDPの質問書『CDP2024』に回答し、『気候変動』及び『水セキュリティ』で、それぞれ「B」スコアを取得しました。（2025年2月）

CDPにおいてBランクは、マネジメントレベルとされ、「環境リスクやその影響に対するアクションをとっており、環境リスクを無くそうとしている企業」と評価されたことを示すものです。

今後も水リスクの低減を含め、気候変動対策を推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2-1. 環境関連データ（2024年度）

INPUT

エネルギー使用量

⚡ 20,904 MWh

再生可能エネルギー 発電量

☀️ 276 MWh

使用した樹脂原材料

📦 Plastic 4,522 t

使用したリサイクル樹脂原材料

📦 Plastic 442 t

OUTPUT

エネルギー使用に伴う

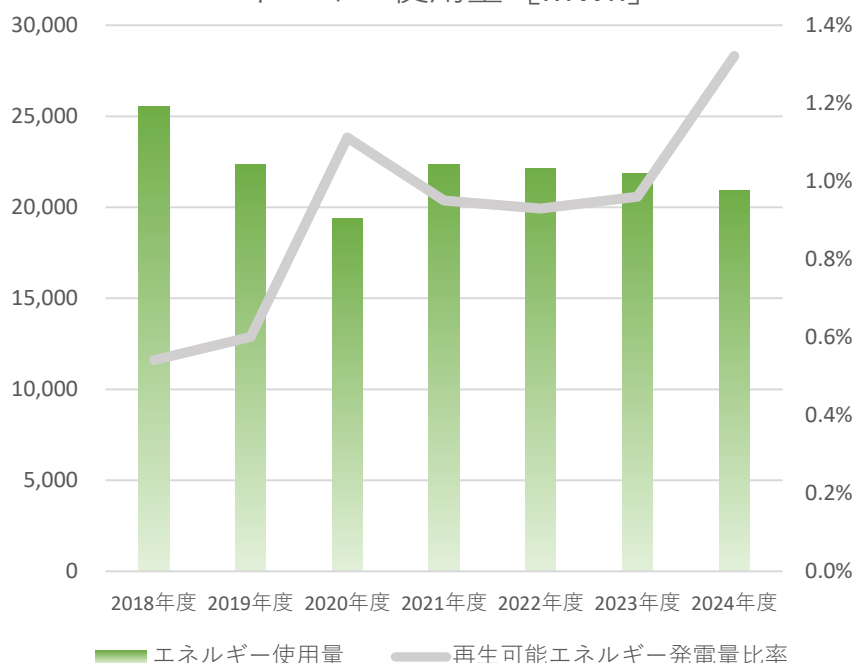
温室効果ガス(CO₂) 排出量

12,059 t-CO₂

(Scope1 151 t-CO₂)

(Scope2 11,908 t-CO₂)

エネルギー使用量 [MWh]



水使用量

💧 72 M t

一般及び産業廃棄物発生量

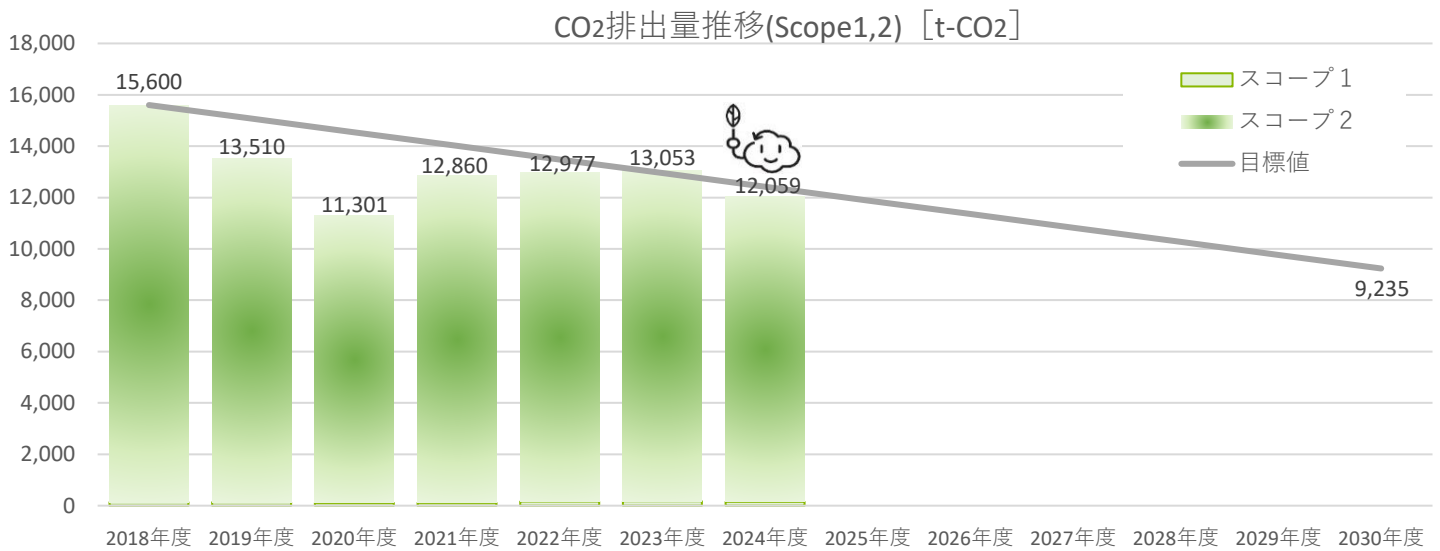
🗑️ 559 t

廃プラリサイクル総重量

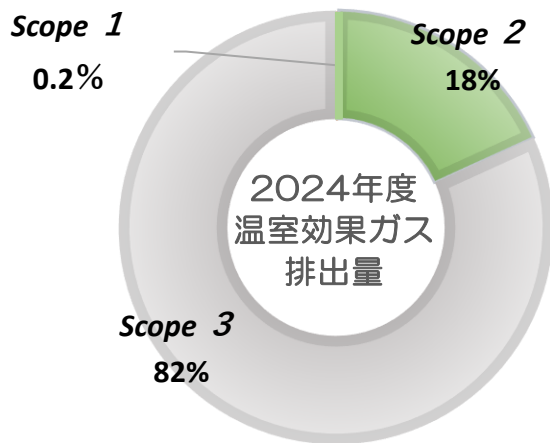
♻️ 1,087 t

● 2-2. CO₂排出量（Scope1 + 2）削減目標

目標値： 2030年度までに40%削減（2018年度比）



● 2-3. サプライチェーン温室効果ガス(CO₂)排出量



《内訳》

当グループのサプライチェーン温室効果ガス排出量の構成として、Scope 3 の排出量が82%と最も多く、中でもカテゴリー1購入した製品・サービスに伴う排出量が大半（約72%）を占めています。

単位[t-CO₂]

CO ₂ 排出量 Scope1,2,3		2018年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
Scope 1		138	107	109	162	173	151
Scope 2		15,462	11,194	12,750	12,814	12,881	11,908
Scope 3		90,981	51,199	59,076	65,363	61,091	54,197
カテゴリー1	購入した製品・サービス	82,247	44,163	50,881	56,621	54,974	46,635
カテゴリー2	資本財	3,616	3,611	4,215	4,563	1,637	2,424
カテゴリー3	スコープ1, 2に含まれない燃料及びエネルギー活動	1,737	1,245	1,521	1,506	1,513	1,443
カテゴリー4	輸送、配送（上流）	1,890	855	1,272	1,514	1,749	2,586
カテゴリー5	事業から出る廃棄物	370	344	287	245	257	220
カテゴリー6	出張	245	218	201	205	214	197
カテゴリー7	雇用者の通勤	868	755	693	704	742	683
カテゴリー12	販売した製品の廃棄	8	8	6	5	6	8

3. その他の活動（一例）

* 定期健康診断



* 安全作業



* ダイバーシティ推進



* 各種研修



* 防災訓練



* 地域貢献活動



* 救命講習



* 外部認証機関による審査



* 内部監査

